

地域振興の核としての県立吾北分校の運営に 町・地域住民の参加制度（CS）はいつか 答弁II令和2年度から学校運営協議会事業を実施



井上 敏雄 議員

地域振興の核として高校の存続を望む保護者や地域住民らが、学校運営に参加する「コミュニティ・スクール（CS）制度」が各地で導入されている。

文科省もCS導入の高校を念頭に町や教育委員会の職員参加を後押しする方針だが、吾北分校にこの制度の導入はいつからか。

藤岡教育長

県も中山間地域の高校存続に向けて、学校の魅力化を図り、地域とのつながりを強化するためにCS制度を推進し「地域とともにあ

る学校づくり」を進めており、吾北分校では、令和2年度からCS制度を実施すると聞いている。

このCS制度が実施になると果たす役割もさらに焦点化されるため、町を含めた地域の意見が、吾北分校の運営に反映されるよう期待する。これからも学校運営や人材育成を図り、卒業生が地域に残り活躍できる方策にも積極的に参画し協働していく。

枝川地区避難所の コミュニティセンター と体育館対策を行え

井上議員

①枝川の中心地にあるコミュニティセンターは、利便性に優れているが、1階部分は浸水時に入入り困難なため歩道橋の設置を。
②枝川小体育館にマットや

囲い用の段ボールなどを備えるべきだ。さらに、体育館までは傾斜がきつく高齢者は避難が困難なため、町有車を配備して校門まで輸送すべきでないか。

土居総務課長

①堤防から建物に歩道橋設置の提案には、天神ヶ谷川の河川改修が終了後に必要性について検討する。

②体育館は床が固いので、避難者への配慮のため、マットなどの敷物は必要と考へ検討する。

枝川小の坂道での送迎の必要性も検討するとともに、避難生活が安心して行えるよう、自主防災組織などと連携して取り組んでいく。

平成31年度原案否決？ 財政への影響はいかに

井上議員

平成31年度一般会計当初予算案が、可否同数となり議長裁決で可決され事なきを得たが、もし否決されたら、暫定予算の編成となり、計上される費目は義

務的経費や継続事業に限定される。

また、国・県への補助金の申請や町債の借入れの適否により、財源に大きな影響を与えると聞かすが、その他への影響はないか。

池田町長

暫定予算は長くとも3か月程度の予算計上となり、政策的な予算が含めず多くの事業で制限がかかり、執行できない状況となる。

そのため新規の政策的事業や投資的事業にも影響を与え、住民並びに事業者にも多大な迷惑をかけることが予想される。

今後も、円滑な行政運営の執行や住民生活への影響を及ぼさないため、予算案は各課で十分検討し査定でも議論を重ね、理解を得られる提案を行いたい。

臨時・非常勤職員の 待遇改善を図れ

井上議員

臨時・非常勤職員の不合理な待遇改善を図れ。

池田町長

地方行政の重要な担い手となっている臨時・非常勤職員の適正な任用・勤務条件を確保することを目的とした、会計年度任用職員制度が令和2年度から新たに始まるので、改正の趣旨にのっとり待遇の改善に努める。

その他の質問事項

- ・全町職員が町内全域の把握で緊急時対策の万全を
- ・答弁II大規模災害には全職員が地域名や位置を把握しておくことは重要なため対応する
- ・教諭事故に対する学校設置者（町立）の責任問題
- ・プログラミング教育は空き家対策に相談窓口の設置で有効活用を
- ・特定空き家とならない対策を行え
- ・避難所の安心安全な対策
- ・液状化現象による社会基盤対策を
- ・災害時の安否不明者公表で救助活動の円滑化を
- ・職員などに対する業務障害行為への対応（記録を）